

＜研究課題名＞	E-0906 (H-096)	国際都市間協働によるアジア途上国都市の低炭素型発展に関する研究		
<p>＜研究概要＞</p> <p>アジア途上国都市における低炭素型発展、とりわけ民生、交通、廃棄物及び家庭・中小企業における省エネ、環境調和型の行動がいかなる施策、インセンティブ手段によって可能になるかを明らかにし、アジアの低炭素社会構築の効果的な方策を明らかにする。その上で、神奈川県や北九州市などの日本の自治体との国際協働によって、アジアの発展段階が異なる都市における低炭素型発展施策のボトムアップ型の取り組みを促進するためのメカニズムについて、具体的な方策を提案する。</p> <p>(1) アジア途上国都市における低炭素型発展施策とその推進メカニズムに関する研究 アジア途上国都市における地方政府による民生・交通・住宅・廃棄物部門の低炭素型発展施策について具体的な施策を取り上げて、その環境・開発効果と費用、インセンティブ方策について対象諸都市で調査する。具体的には、住宅の省エネ、家庭・中小企業の省エネ行動、交通・運輸における対策、廃棄物減量化及び排水対策について追加費用、GHG排出削減効果、及びその他の環境・開発コベネフィットを特定し、施策の実施のための制度設計を行う。</p> <p>(2) 日本の自治体における低炭素社会構築及び地球環境問題への取り組み促進施策に関する研究 環境モデル都市等の国内の都市・自治体を対象として、低炭素施策の地域展開の実態を把握し、施策の促進要因及び阻害要因等の分析、政策波及分析等を実施するとともに、地域レベルのアジア都市連携事例調査を実施して施策の波及・移転に係る障壁と可能性について考察し、今後の連携方策の実施に向けた課題を把握する。</p> <p>(3) アジア途上国都市と日本の都市との低炭素型発展パートナーシップの形成・推進に関する研究 国際都市間ネットワークの役割、効果、成功要因についてのレビュー、国際協働に向けてのアクター、動員可能な資源の調査、他の先進国の低炭素発展に関する国際協働事例研究等を行うとともに、低炭素型発展国際協働フォーラムの試行的実施を通じて国際協働メカニズムについて提言する。</p>				
＜研究代表者＞		加藤 久和		財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー（64歳）
No.	サブテーマ名	氏名	所属機関名・部局・役職名	
(1)	アジア途上国都市における低炭素型発展施策とその推進メカニズムに関する研究	○ 堀 史郎 林 徹夫 近藤 加代子 藤田 敏之	九州大学炭素資源国際教育研究センター教授 九州大学炭素資源国際教育研究センター教授 九州大学炭素資源国際教育研究センター准教授 九州大学炭素資源国際教育研究センター准教授	
(2)	日本の自治体における低炭素社会構築及び地球環境問題への取り組み促進施策に関する研究	○ 田中 充 小河 誠	法政大学社会学部教授 法政大学大学院政策科学研究科兼任講師	
(3)	アジア途上国都市と日本の都市との低炭素型発展パートナーシップの形成・推進に関する研究	◎ 加藤 久和 森 秀行 菊澤 育代	財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー 財団法人地球環境戦略研究機関所長 財団法人地球環境戦略研究機関北九州アーバンセンター研究員	